

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年9月11日(2023.9.11)

【公開番号】特開2022-44048(P2022-44048A)
 【公開日】令和4年3月16日(2022.3.16)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-047
 【出願番号】特願2021-189182(P2021-189182)
 【国際特許分類】

A 6 3 H 33/00(2006.01)

10

A 6 3 H 33/26(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/00 C

A 6 3 H 33/26 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月1日(2023.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出を起動する起動部を備える副玩具体と、
 前記副玩具体の着脱が可能な主玩具体と、を備え、
 前記主玩具体は、前記起動部を動作させる動作部と、リンク機構と、前記リンク機構を介して前記動作部を駆動する操作部と、を有し、
 前記リンク機構は、前記操作部による一回目の前記動作部の駆動に応じて、前記動作部の二回目以降の駆動のための前記操作部の操作を無効とするロック機構を備えている、
 演出出力玩具。

30

【請求項2】

請求項1に記載の演出出力玩具であって、
 前記ロック機構は、前記操作部による前記動作部の二回目以降の駆動のための前記操作部の操作を有効化するためのロック解除部材を含む、
 演出出力玩具。

【請求項3】

請求項2に記載の演出出力玩具であって、
 前記ロック解除部材は、前記主玩具体において露出して設けられ、前記副玩具体の前記主玩具体からの着脱を検出可能である、
 演出出力玩具。

40

【請求項4】

請求項1～3何れか一項に記載の演出出力玩具であって、
 前記リンク機構は、
 前記副玩具体の装着により前記副玩具体に押されて前記主玩具体の内部に向う第1の移動が可能なロック解除部材と、
 前記ロック解除部材の前記第1の移動により押圧されて前記第1の移動とは直交する方向の第2の移動が可能な第1ロック部材と、
 前記第1ロック部材を移動可能に内装し前記第2の移動と同一平面上で直交する方向に移動して前記起動部のうち第1起動部を押圧する第4の移動が可能な第1部材と、

50

前記操作部に押圧されて前記第 4 の移動と平行な面上を前記第 4 の移動と同一方向に移動して前記起動部のうち第 2 起動部を押圧する第 3 の移動が可能な第 2 部材と、

前記第 2 部材の前記第 3 の移動により押圧され前記第 1 ロック部材に接して前記第 1 ロック部材及び前記第 1 部材を前記第 4 の移動をさせつつ、前記第 1 の移動とは反対方向に移動する第 5 の移動が可能な第 2 ロック部材と、を含み、

前記操作部による前記第 2 部材の前記第 3 の移動の完了と略同時に、前記第 2 ロック部材と前記第 1 ロック部材との係合位置がずれ前記第 2 ロック部材が前記第 2 部材との係合位置から外れて前記第 1 ロック部材に拘束され、前記拘束と同時に前記第 1 ロック部材及び前記第 1 部材が前記第 4 の移動とは逆方向に戻る第 6 の移動が誘発される、
演出出力玩具。

10

【請求項 5】

請求項 4 に記載の演出出力玩具であって、

前記第 2 ロック部材が前記第 2 部材との係合位置から外れて前記第 1 ロック部材に拘束された状態において、

前記副玩具体の取外しによって、前記ロック解除部材が前記第 1 の移動とは逆方向に移動する第 7 の移動をし、前記第 7 の移動によって前記第 1 ロック部材の位置規制が解除され、前記第 2 ロック部材は、第 1 ロック部材の前記拘束から解放されて前記第 5 の移動とは逆方向に移動する第 8 の移動により元の位置に戻る、
演出出力玩具。

【請求項 6】

20

請求項 1 又は 2 に記載の演出出力玩具であって、

前記リンク機構は、

前記操作部に押圧されて第 1 のスライド方向に移動可能な第 1 スライドパーツと、

前記第 1 スライドパーツに係合し前記第 1 のスライド方向の移動により第 1 の回動方向に回動可能な第 1 回動パーツと、

前記第 1 回動パーツを、前記第 1 の回動方向の回動と同時に当該回動の回動軸線方向の第 2 のスライド方向に移動した状態で前記第 1 スライドパーツとの当接位置から外す状態にて位置規制するロックパーツと、

前記第 1 回動パーツに付勢されて前記第 1 の回動方向とは逆向きの第 2 の回動方向に回動可能な第 2 回動パーツと、

30

前記第 2 回動パーツに付勢されて前記第 2 回動パーツの回動により前記第 2 回動パーツの回動面とは略直交する第 3 の回動方向に回動し、前記起動部を押圧する押圧移動が可能な第 3 回動パーツと、を含み、

前記第 1 回動パーツは、前記第 1 スライドパーツによる前記第 1 の回動方向と共に前記第 2 のスライド方向に移動し、前記第 2 のスライド方向に移動の終段において前記ロックパーツに係合し前記第 1 スライドパーツによる前記第 1 の回動が不能なる位置に位置規制される、

演出出力玩具。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の演出出力玩具であって、

40

前記リンク機構には、前記ロックパーツに係合し、前記第 1 回動パーツを前記第 1 スライドパーツとの当接可能な初期位置に復帰するように位置規制を解除するロック解除パーツが設けられている、

演出出力玩具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

50

本発明に係る演出出力玩具は、演出を起動する起動部を備える副玩具体と、前記副玩具体の着脱が可能な主玩具体と、を備え、前記主玩具体は、前記起動部を動作させる動作部と、リンク機構と、前記リンク機構を介して前記動作部を駆動する操作トリガーと、を有し、前記リンク機構は、前記操作トリガーによる一回目の前記動作部の駆動と同時に、前記操作トリガーによる前記動作部の操作を無効とするロック機構を備えている。また、本発明に係る演出出力玩具は、演出を起動する起動部を備える副玩具体と、前記副玩具体の着脱が可能な主玩具体と、を備え、前記主玩具体は、前記起動部を動作させる動作部と、リンク機構と、前記リンク機構を介して前記動作部を駆動する操作部と、を有し、前記リンク機構は、前記操作部による一回目の前記動作部の駆動に応じて、前記動作部の二回目以降の駆動のための前記操作部の操作を無効とするロック機構を備えている。

10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明に係る演出出力玩具においては、前記ロック機構は、前記操作トリガーによる前記動作部の操作を有効化するためのロック解除部材を含む、ようにしてもよい。また、本発明に係る演出出力玩具においては、前記ロック機構は、前記操作部による前記動作部の二回目以降の駆動のための操作を有効化するためのロック解除部材を含む、ようにしてもよい。

20

30

40

50